

「文学部卒から見るCOVID-19(武漢肺炎)」

◆＜同期生からの対策レポート＞

中世の「ペスト」とも見紛うレベルとなりつつあるウィルスの猛威 (H.G.ウェルズの『宇宙戦争』でも驚異の火星人が自滅したのは、地球上のウィルスが原因)。我が千葉高43同期生諸君からの対策レポートが少しずつ寄せられている。文学部卒の私など、専門的知見はネット情報以上のものはない。

◆＜文学部卒からのメッセージ＞

理系諸氏が貴重なレポートを寄せられる。では文学部卒なら何を言いうるか…、

拙ブログ (アルゴス圏内 <https://algos.exblog.jp/240155167/>) に、いささか極楽トンボの舞。

何も専門的知見を皆が持つ必要も述べる必要もない。周りで何が起きているか、危機に際し窺えば、思わぬ芽や枝が伸びているかもしれない。思わぬ枝葉が絡んでいるかもしれない。

◆＜老いの初心とyoutu 活用補修授業＞

私立高校の非常勤講師も辞して丸一年になるが、この一月から三ヶ月間のみ、旧職場の視覚支援学校の臨時講師の委嘱を受けた。お蔭で、世阿弥の言う「老いの初心」を強く意識したのだが、ウィルス騒ぎで三月の授業が突如終了、課題学習となったが、勤務校は素早く個別youtu にアップする方式を取り、既に一般化しているネット配信学習の裾野を広げる契機となった。卒業式も全員マスクで、国歌(校歌)斉唱ならぬ国歌(校歌)静聴、じっくりと歌詞の意味を痛感出来た。

◆＜諸分野のエキスパートとしての知見表明＞

医学・薬学・医療保健衛生諸分野、教育・政治・経済・情報メディア・流通・交通運輸・商業・工業・産業・軍事、いや自衛隊、…その他各分野のOB・OGの地位に於ける専門知見情報をお持ちの同期生諸氏の皆さんから、或いは家庭人として、或いは地域の重鎮として、子や孫や地域の危機に鑑み、どんなメッセージが発せられるのだろうか。

◆＜表現をもって生きる人々＞

知りうる同窓諸氏に、歌人俳人川柳人多数。是非諸氏先生方の作品を拝見したいもの。かの311には、日頃表現に対し真摯なる方々の、暫し沈黙の後、ほとばしるような表現の数々に対面、表現とはかかるものかと、知人諸氏の才をあらためて感得。

◆＜蘇る場所は墓ではなく、子孫の胸＞

ダニエル・デフォーが成した、かの禍々しき「倫敦ペスト」の記述も、当時の無数の記録を素材にしていると思えます。ま、各々の観察・状況記録と発信も、百年後には一級資料。子孫その時、うちのひい爺(婆)ちゃんは、どんなこと考えてたんだろうか…と思うでしょう。その時、墓参りも恐らく絶えた子孫の胸に、現在古稀のあなたが蘇るかもしれません。

◆＜同期生が本当に集う場所＞

私ごときが不遜なことを申しました無礼はお許し頂くとして、同じ葛城ヶ丘に学んだ一群の集団が、めでたくも古稀に達した此の時、日本中世界中に散開した吾々、残る二三百人の言葉と知見を集約する場所が此処に在るとは、何という僥倖でありましょう。

墓穴近き夕暮れの
光芒幽かな闇の上
些か息を継ぐ暇に
残軀の言を述べん哉 板見潤一